
準備する

GPSユニットを
持って外に出よう！

ソフトを使って
楽しむ

付隨情報

GPS-CS1K用アップグレードキット ACC-GPS

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はどちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

 この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC
(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用
しています。

Printed in Japan



3874266010

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「401」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守
らないと、火災や人身事故になることが
あります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、**火災や感電などにより人身事故**になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る
- ・定期的に点検する
- ・故障したら使わずに、ソニーの相談窓口までご連絡ください。
- ・万一、異常が起きたら
変な音やにおい、煙が出た場合
→ ① GPSユニットの電源を切る
② ソニーの相談窓口までご連絡ください

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

行為を指示する記号



指示

⚠ 警告

下記の注意事項を守らないと、**死亡や大けが**の原因となります。

- ・ ブラケットを自転車やバイクに取り付ける場合は、運転操作の妨げにならない場所に取り付けてください。
交通事故の恐れがあります。
- ・ 自転車やバイクを運転中は、GPSユニットを操作しないでください。
交通事故の恐れがあります。
- ・ 自転車やバイクを運転する場合はGPSユニットの表示ランプを見ないでください。GPSユニットの表示ランプを見る場合は停車してください。
交通事故の恐れがあります。
- ・ ブラケットはハンドル以外には取り付けないでください。
フレームなどに取り付けるとベルトが車輪に巻き込まれる恐れがあり転倒の恐れがあります。
- ・ 付属品は子供の手の届かないところに保管してください。
怪我の恐れがあります。



指示



禁止



指示



禁止



指示

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

- ・ GPSユニットを航空機内で使わないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ アームバンドをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止してください。
- ・ アームバンドをお使いになる場合は、バンドを締め過ぎないようにご注意ください。血流に支障をきたすおそれがあります。



禁止



指示



指示

お願い

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Ni-MH

ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人 JBRCホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

目次

こんなことができます	6
------------------	---

準備する

同梱物を確かめる	8
----------------	---

GPSユニットを持って外に出よう！

携帯時のご注意	9
キャリングケースに取り付ける	9
キャリングケースで持ち運ぶ	10
アームバンドで携帯する	11
ホルダーで自転車やバイクのハンドルに取り付ける	12

ソフトを使って楽しむ

付属のソフトウェアで楽しむ	15
付属のソフトウェアをインストールする	17
「GPS Image Tracker」で画像に位置情報を付けよう！	19
「Picture Motion Browser」で画像を見よう！	22

付随情報

主な仕様	23
------------	----

こんなことができます

GPSユニットと付属のソフトウェアを使って、こんなことができます

- ・旅行などで撮影した写真、動画(以下「画像」と呼びます)を、どこで撮ったかあとで位置を確認できます。
- ・撮影した画像に位置情報を付けて、画像を整理できます。
- ・地図に撮影した画像とルートを表示して、メールで送信できます。

GPSユニットを持って外に出よう！

付属のアタッチメントを使うと、さまざまな場面にGPSユニットを携帯できます(9ページ)。

GPSユニットで実際にGPSログを記録してみよう！

デジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラレコーダー、デジタル一眼レフカメラ(以下「カメラ」とする)などで撮影を始める前にGPSユニットの電源を入れます。GPSユニットは、電源を切るまでGPSログ(位置と時間)を記録します。



「GPS Image Tracker」で画像に位置情報を付けよう！

- ❶ 付属のソフトウェア(Picture Motion Browser)を使って、カメラで撮影した画像をパソコンへ取り込みます。
- ❷ 付属のソフトウェア(GPS Image Tracker)を起動して、GPSユニットに記録したGPSログをパソコンへ取り込みます。
- ❸ パソコンに取り込んだ画像をGPS Image Trackerへ取り込みます。
- ❹ 地図で確認しながら画像とGPSログを突き合わせて(マッチング)、画像に撮影時の位置情報を付け加えます(20ページ)。

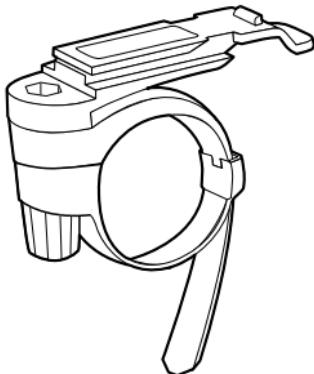
「Picture Motion Browser」で地図上で画像を見てみよう！

- ・「Picture Motion Browser」の「Map View」を使って、オンライン地図上でルートと画像が表示できます(22ページ)。
- ・作成したオリジナルの地図データをメールで送信できます。

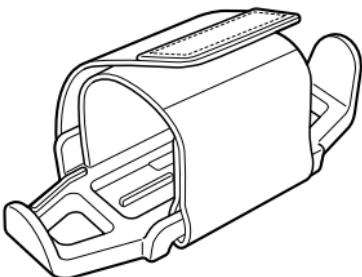


同梱物を確かめる

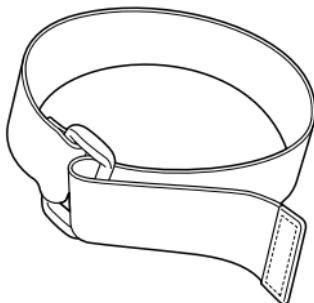
梱包箱から取り出したら、以下の同梱物がそろっているか確認してください。同梱物の中にかけているものがあるときは、ソニーの相談窓口または販売店にご連絡ください。



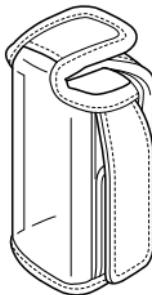
・ブラケット(1)



・ホルダー (1)



・アームバンド(1)



・キャリングケース(1)

- ・「GPSユニットアプリケーションソフトウェア」のインストールディスク(1)
- ・取扱説明書(本書)
- ・その他印刷物一式

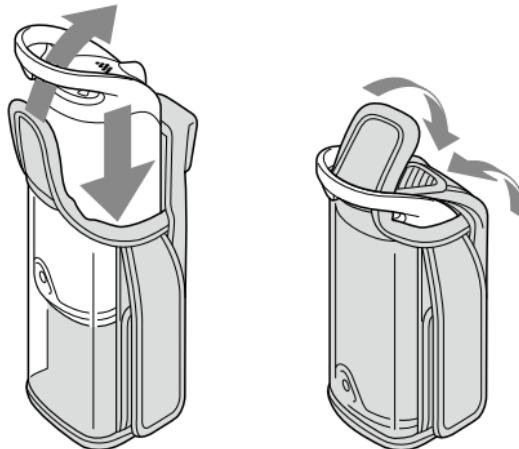
* ブラケット、ホルダー、アームバンド、キャリングケースを総称してアタッチメントキットと呼ぶ場合があります。

携帯時のご注意

- ・GPSユニットを持ち歩く場合、アンテナ部分が上または外側を向くようにして、固定してください。
- ・GPSユニットは、布などで覆われた状態でも、ご使用できます。
- ・GPSユニットをアタッシュケースなど金属製のカバンに入れたり、金属製のもので覆ったりすると、電波を受信することができません。

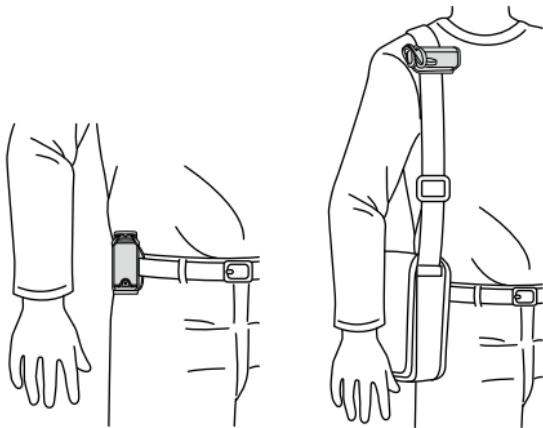
キャリングケースに取り付ける

GPSユニットを付属のキャリングケースに下図のように取り付けると、さまざまな持ち運びができます。



キャリングケースで持ち運ぶ

側面の面ファスナーを使って、ズボンやカバンのベルトなどに取り付けることができます。

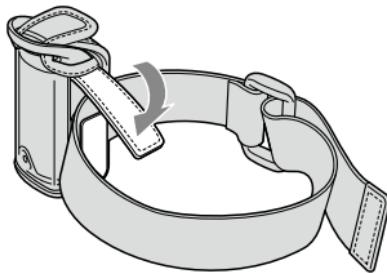


アームバンドで携帯する

付属のアームバンドを使うと、GPSユニットを取り付けることができます。

1 GPSユニットをキャリングケースに入れます。

2 アームバンドを下図のようにキャリングケースに取り付けます。



3 腕に通して適度にバンドを締め付けます。



ご注意

- ・アームバンドをGPSユニット以外に使用しないでください。
- ・アームバンドをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止してください。
- ・アームバンドをお使いになる場合は、バンドを締め過ぎないようにご注意ください。血流に支障をきたすおそれがあります。

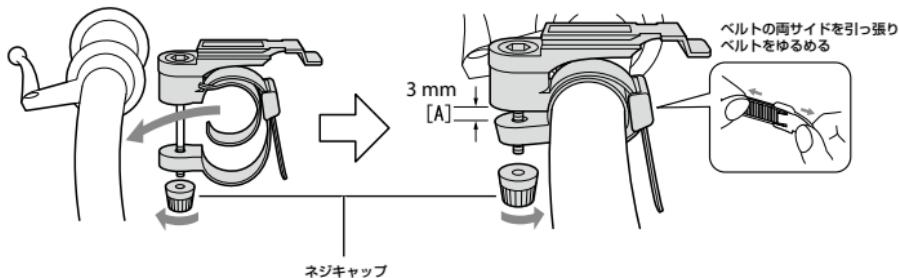
ホルダーで自転車やバイクのハンドルに取り付ける

付属のホルダーとブラケットを使うと、GPSユニットを自転車やバイクのハンドルに取り付けることができます。

- ・ブラケットが対応するハンドル径は20 mmから35 mmです。
- ・ブラケットは運転操作の邪魔にならない場所に取り付けてください。
- ・ブラケットはすべての自転車やバイクに取り付けられるものではありません。

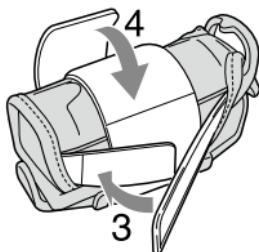
1 以下の手順に従って、ブラケットを自転車などのハンドルに取り付けます。

- ① ブラケットのネジキャップをはずしてハンドルにベルトを巻きつけます。
- ② ベルトを調節して[A]部を約3 mmほど隙間が開くようにします。
- ③ ネジをしっかりと締めて、ハンドルに固定します。



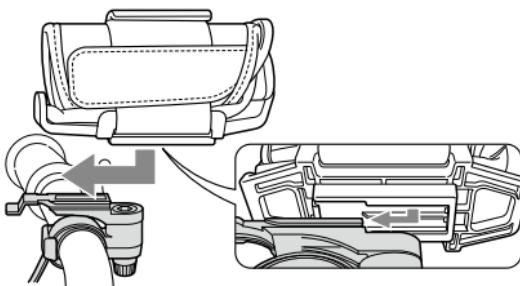
2 GPSユニットをキャッシングケースに入れます。

3 ホルダーにGPSユニットを載せてキャリングケース側面の面ファスナーでホルダーのベルトに固定します。

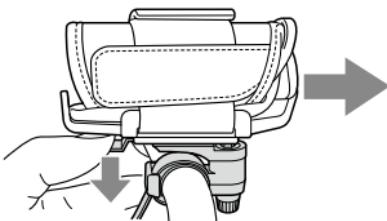


4 ホルダーの面ファスナーでGPSユニットをしっかり固定します。

5 ホルダーの底面の溝にブラケットの溝を合わせてカチッというまで押し込んで取り付けます。



-
- 6** ホルダーをブラケットからはずす場合は、ブラケットのツマミを下に押し下げながらホルダーを図の方向にスライドさせます。



ご注意

- ・ ブラケットをハンドル以外には取り付けないでください。
- ・ ブラケットを使って自転車やバイクに取り付ける場合は、運転操作の妨げにならないよう注意してください。
- ・ 自転車やバイクを運転中は、GPSユニットを操作しないでください。
- ・ 自転車やバイクを運転中にGPSユニットの表示ランプを確認したい場合は、必ずいったん停車してから確認してください。
- ・ キャリングケースに取り付けずにGPSユニットをホルダーに固定するとGPSユニットを傷つけたり、落下する可能性がありますのでキャリングケースをご使用ください。

付属のソフトウェアで楽しむ

付属のソフトウェアをインストールして、GPSユニットのGPSログをパソコンで確認したり、地図上で撮影した位置を確認したりすることができます。

付属のCD-ROMには、GPSユニットアプリケーションソフトウェア(「GPS Image Tracker」、「Picture Motion Browser」)、「Super Maple Digital Ver.7 for Sony」のソフトウェアが収録されています。

GPS Image Tracker :

GPSユニットに記録したGPSログをパソコンに取り込み、閲覧・管理することができます。カメラで撮影した画像データに撮影した位置の情報を付け加えることができます。

Picture Motion Browser :

- ・パソコンにある画像を撮影日ごとにカレンダー上に整理して閲覧できます。
- ・「Map View」機能で、画像の位置や「GPS Image Tracker」に取り込んだGPSログのルートを地図上で確認できます。
- ・「Map View」機能で作成したオリジナルの地図をメールで送信できます。

パソコンの推奨環境

付属のソフトウェアを使用するには、下記の推奨環境が必要です。

GPS Image TrackerおよびPicture Motion Browser :

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP* SP2/Windows Vista*

*64bit版は除きます。

CPU/メモリ: Intel Pentium III 500 MHz以上(Intel Pentium III 800 MHz以上を推奨)/256 MB以上(512 MB以上を推奨)

ハードディスク: インストール時に必要な容量: 約400 MB

ディスプレイ: 1024×768 ドット以上

- ・動画を扱う場合は、Cyber-shotやHandycamに同梱されている「Picture Motion Browser」に準じた動作環境が必要です。

パソコン接続についてのご注意

- ・ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ・ 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、GPSユニットが動作しないことがあります。
- ・ USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- ・ パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

付属のソフトウェアをインストールする

本キット付属のソフトウェアをインストールする前に以下をご確認ください。

- ・Handycamや一部のCyber-shotで撮影した動画ファイルを扱う場合は、それぞれに同梱されている「Picture Motion Browser」を別途インストールしていただく必要があります。
- ・Cyber-shotやHandycam(以下「カメラ」と呼びます)に付属の「Picture Motion Browser」をインストールする場合は以下の点にご注意ください。
 - 「Picture Motion Browser」のバージョンが「3.0.xx.xxxxx」より古い場合は、先にカメラに同梱の「Picture Motion Browser」をインストールしてから本セットに同梱のCD-ROMを使ってインストールしてください。
 - 「Picture Motion Browser」のバージョンが「3.0.xx.xxxxx」と同等、もしくは新しい場合は、本セットに同梱のCD-ROMをインストール後に、カメラに付属の「Picture Motion Browser」をインストールしていただくことで、機能が追加されます。

下記の手順で、ソフトウェア(付属)をインストールします。

- ・「GPS Image Tracker」をすでにインストールされている場合も、付属の「GPS Image Tracker」をインストールしてください。
- ・コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

「GPS Image Tracker」と「Picture Motion Browser」をインストールする

-
- 1 パソコンの電源を入れた状態で、「GPSユニットアプリケーションソフトウェア」のインストールディスク(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

設定言語の選択画面が表示される。

Windows Vistaでは自動再生画面が表示されます。「setup.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールしてください。

- ・インストールが始まらないときは、[スタート]→[マイコンピュータ]の順にクリック(Windows2000では、[マイコンピュータ]をダブルクリック)し、 (SONYPCTUTIL)をダブルクリックする。

2 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

使用許諾画面が表示される。

3 内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

プログラムのインストール準備完了画面が表示される。

4 インストールの設定を確認し、[インストール]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

- ・パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
 - ・お使いのパソコンの環境によっては、ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールをしてください。
-

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

「GPS Image Tracker」で画像に位置情報をつけよう！

GPSユニットとパソコンを接続して、付属のソフトウェア「GPS Image Tracker」を立ち上げて、GPSログファイルをパソコンに取り込みます。さらに、GPSログを記録していた際に撮影した画像をソフトウェアに取り込むと、画像に撮影時の位置情報が付け加えられます。

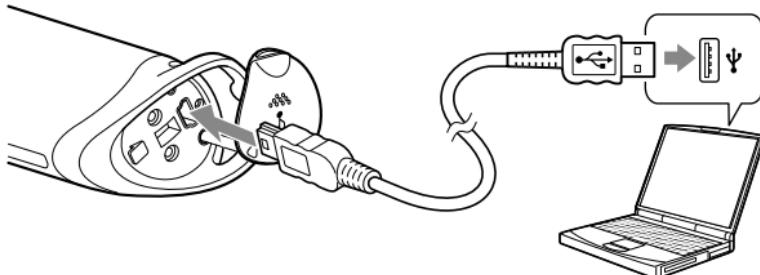
- ・「GPS Image Tracker」での操作の前に、付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使って、撮影した画像をパソコンへ取り込んでおいてください。取り込みかたについてはカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ・「Picture Motion Browser」のメニューから[ヘルプ]→[バージョン情報]→[登録ファイル形式]を選択して、扱える動画の種類を確認することができます。
- ・「GPS Image Tracker」の詳しい使い方については、「GPS Image Tracker」のヘルプ(?)をご覧ください。
- ・パソコンにつなぐ場合は、電源をパソコンから供給できるため電池は不要です。

操作1：「GPS Image Tracker」を起動する

デスクトップ画面上の[①](GPS Image Tracker)をダブルクリックします。または[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[GPS Image Tracker]の順にクリックします。

操作2：GPSユニットとパソコンをつなぐ

図のように端子カバーを引き出し、GPSログを記録したGPSユニットとパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ



ご注意

リムーバブルディスクの画面が立ち上がる場合がありますが、GPSフォルダ内のデータは更新しないでください。

操作3：GPSログを取り込む

ログファイルの取り込み画面で [OK] をクリックする



操作4：パソコンとの接続を切断する

① タスクトレイの  をダブルクリック。



ここをダブルクリック

②  (USB大容量記録装置デバイス) → [停止] をクリック。

③ 取りはずすドライブを確認して、[OK] をクリック。

④ [閉じる] をクリック。

パソコンの接続が切断されました。

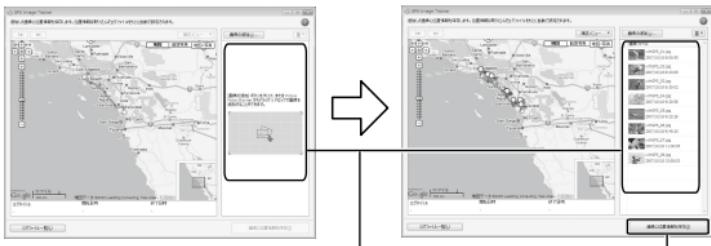
操作5：写真を取り込み位置情報を付ける

付属の「Picture Motion Browser」で位置情報を付けたい画像を選んで、「GPS Image Tracker」のメイン画面にある画像ファイル一覧にドラッグアンドドロップします。

メイン画面の [画像に位置情報を保存] をクリックしてから「保存」ボタンをクリックすると、画像ファイル一覧に表示されているすべての画像に位置情報を付けて保存することができます。

- ・インターネットに接続されている環境では地図上で確認しながらマッチングを行うことができます。

メイン画面



画像ファイル一覧

[画像に位置情報を保存] ボタン

- ・インターネットに接続されていない環境でも、マッチングを行うことはできますが、地図は表示されません。



ご注意

- ・お使いのPC環境によっては一度に多くの画像を扱うと動作が遅くなる場合があります。
- ・画像への位置情報の保存が完了したら、必ず「GPS Image Tracker」を終了してください。

テクニカルサポート

その他のサポート情報や、製品に関するお問い合わせは、こちらのホームページをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

「Picture Motion Browser」で画像を見よう！

「GPS Image Tracker」でマッチングした画像とルートは、「Picture Motion Browser」の「Map View」機能で閲覧できます。

1 「Picture Motion Browser」を起動する。

デスクトップ画面上の[] (Picture Motion Browser)をダブルクリックします。

または[スタート] → [すべてのプログラム] (Windows 2000では[プログラム]) → [Sony Picture Utility] → [Picture Motion Browser] の順にクリックします。

2 地図上に表示したい画像を選択します。

* 位置情報を付けた画像のみ、地図上に表示できます。位置情報を持っている画像は、サムネイルの右上にアイコンが表示されます。

3 アイコンをクリックします。

「Map View」の画面が開き、選択した画像と、対応するルートが地図上に表示されます。

* 画像と同じ日付のログファイルを「GPS Image Tracker」に取り込んでいない場合は、ルートが表示されません。

「Picture Motion Browser」の詳しい使い方についてはPMBガイド()を参照してください。

- ・「Map View」をお使いになるには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

主な仕様

対応画像

- JPEG ファイル(Exif2.1 以降に準拠しているファイルのみ)
- ソニー製デジタルスチルカメラやソニー製デジタルビデオカメラで撮影した動画ファイル
(カメラに同梱されている Picture Motion Browser がインストールされている必要があります。)

同梱物

- ブラケット(1)
- ホルダー (1)
- アームバンド(1)
- キヤリングケース(1)
- 「GPSユニットアプリケーションソフトウェア」のインストールディスク(1)
- 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

商標について

- Google は Google Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には TM、®R マークは明記していません。